

## パブリックコメントの結果公表

- ・政策等の名称

成田市地域防災計画修正(素案)

- ・意見等の募集期間

令和6年1月16日 から 令和6年2月15日

- ・意見等の件数

8件 (1人)

- ・担当課

危機管理課(20-1523)

成田市地域防災計画の修正(素案)について提出された意見と市の考え方

番号	提出された意見の概要	意見に対する市の考え方
1	<p>共-19</p> <p>成田市の気象について、最新 2023 の統計が必要。それによると過去 10 年間の気温上昇が分かり、気候危機時代に入ったことが判明。</p> <p>それにより気候変動が分かり、成田地域防災計画修正に最新版が加わり、もっと精密な防災計画が修正される。</p>	<p>計画案を作成時点において最新である「令和4年版成田市統計書(令和5年1月)」を使用しております。</p>
2	<p>共-40 減災目標</p> <p>共-41 自主防災組織の結成促進とあるが、成田市の地域コミュニティが崩壊している、自治会には高齢者ばかり、若い層の加入が減少していて、自主防災組織の結成率は低い。如何に結成率を上げるのが、各自治会の大きな課題である。</p>	<p>市では、「成田市地域防災計画」等に基づき、自主防災組織の結成を促進しています。いただいたご意見につきましては、今後の参考とさせていただきます。</p>
3	<p>共-50 水害の予防</p> <p>流出抑制対策の推進</p> <p>市内各地の森林が破壊され、造成地が増える事は、洪水防止対策に逆行している。</p>	<p>「成田市地域防災計画」において、雨水の流出抑制対策は有効であり、造成地等には、地下浸透設備や調整池等を整備するなど流出抑制対策を実施し、河川整備と組み合わせて水害に対する総合的な安全性の向上に努めるとしてしています。いただいたご意見につきましては、今後の参考とさせていただきます。</p>

番号	提出された意見の概要	意見に対する市の考え方
4	<p>共-51 農作物等の水害予防対策</p> <p>農地を造成地として開発する行為で、田んぼの天然ダム機能が無くなる。また開発することで、農地がCO2を吸収する機能も無くなり、食料の安全保障も脅かされる。</p>	<p>いただいたご意見につきましては、今後の参考とさせていただきます。</p>
5	<p>共-62 防災空間の整備・拡大</p> <p>都市公園の整備</p> <p>及び 緑地の保全、林地の保全、農地の保全 は脱炭素社会における必須項目。</p> <p>カーボンニュートラル対策として、大いに推進すべきである。</p>	<p>「成田市地域防災計画」において、公園や農地等を防災空間として整備・保全を図り、本市における防災機能の向上に努めるとしています。いただいたご意見につきましては、今後の参考とさせていただきます。</p>
6	<p>共-68 組織運営体制の充実</p> <p>今回の能登半島震災でも課題となっているが、被災市民に行政職員がいる。緊急時に組織運営を図ることが課題である。かといって被災地から遠い職員は、緊急時組織運営に間に合わない。</p>	<p>市では、人的・物的資源が不足する状況において、災害対応業務及び優先度の高い通常業務を特定するとともに、非常時優先業務の継続に必要な資源の確保・配分や、業務開始目標時間を定める等の必要な措置を講じることにより、大規模な自然災害発生時にも業務を行うため業務継続計画を策定しています。</p>
7	<p>共-72 燃料の確保</p> <p>市ではガソリン、重油、軽油等の燃料確保と言ってはいるが、火災・防災上問題がある。</p>	<p>「成田市地域防災計画」において、指定避難所において、太陽光発電設備、非常用発電機、蓄電池など、停電の際に電力供給が可能な設備・機器の整備を進めるよう努めるとしてい</p>

番号	提出された意見の概要	意見に対する市の考え方
	<p>ではなく、防災施設では、太陽光発電等が必須である。</p>	<p>ます。いただいたご意見につきましては、今後の参考とさせていただきます。</p>
8	<p>共-80 避難体制の整備            避難所の整備項目は必須。            避難路の整備項目は必須であり、如何に避難路を確保するか課題もある</p>	<p>「成田市地域防災計画」において、市では、安全な避難を確保するため、避難路の整備に努めるとしています。また、令和4年度には、「成田市防災ハザードマップ」を作成し、市内の全戸に配布を行い、自らの知っておくべき避難所や危険個所、避難路への理解促進に努めています。</p>